

河内長野市第2期観光振興計画【概要版】

河内長野市第6次総合計画 理念及びビジョン

ふだんを生きる、じぶんが活きる。
知るほど暮らすほど「好き。」が深まる千年都市。

本市の観光がめざす姿

“ここにしかない”時間を求めて。

都心から30分の場所にありながら、自然や文化・歴史を感じられるまち、河内長野。自然と親しむアウトドア体験、ながく大切に守り継がれてきた神社仏閣。“ここにしかない”時間がゆっくりと流れていて、国内外から多くの人を惹きつける魅力になっています。慌ただしい日々の中で失った時間を取り戻し、ゆたかな時間を蓄えていく。そんな時間の楽しみ方が、ここにはあります。

まちが元気、みんなも元気。

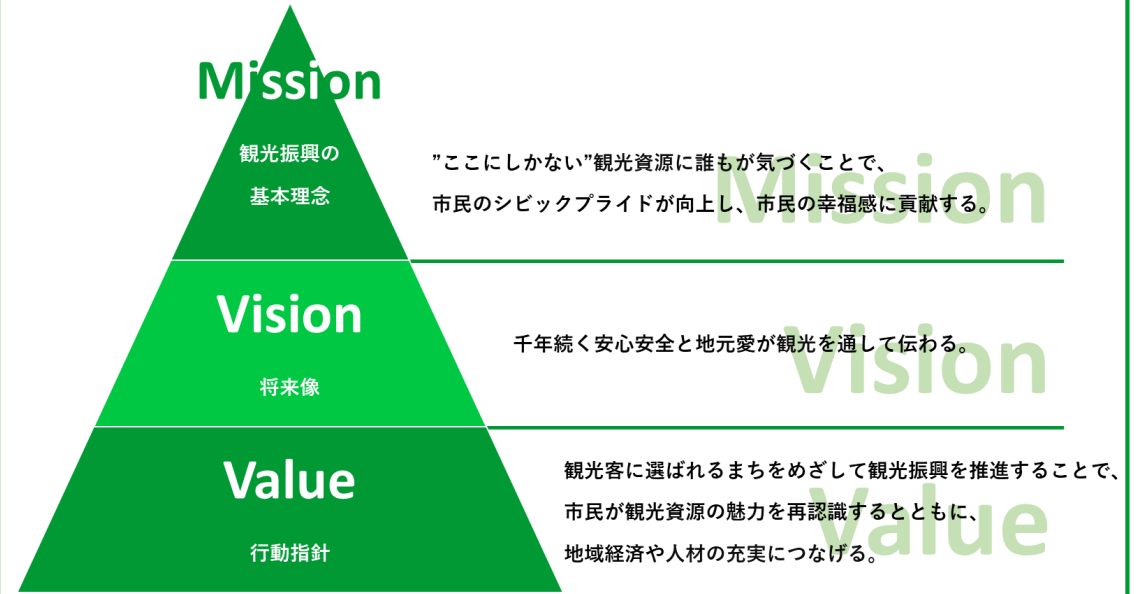
深呼吸したくなるゆたかな自然、美しく整備された街並み、充実した子育て環境、教育や福祉、活気ある産業や観光、農業に林業、そして、人と人の心地よいつながり。10年後の河内長野は、もっと美しく、もっといきいきしたまちに。みんなの「ふだん」も元気にあふれています。

「好き。」が集まれば、すごい力に。

河内長野がみんなの「好き。」であふれたまちになって、みんなで見つけて持ち寄ったいくつもの魅力が「まちのブランド」になり、広く全国へと伝わっていく。みんなで愛着と誇りを持って、このまちでの暮らしを楽しむことが、そのまま、まちづくりにも活かされていく。そんな未来が、始まろうとしています。

計画期間 令和8年度から令和17年度の10年間の計画とし、中間年度となる令和12年度に見直しを行います。

観光振興の基本理念・将来像・行動指針 - Mission Vision Value



“ここにしかない”観光資源ごとの取組

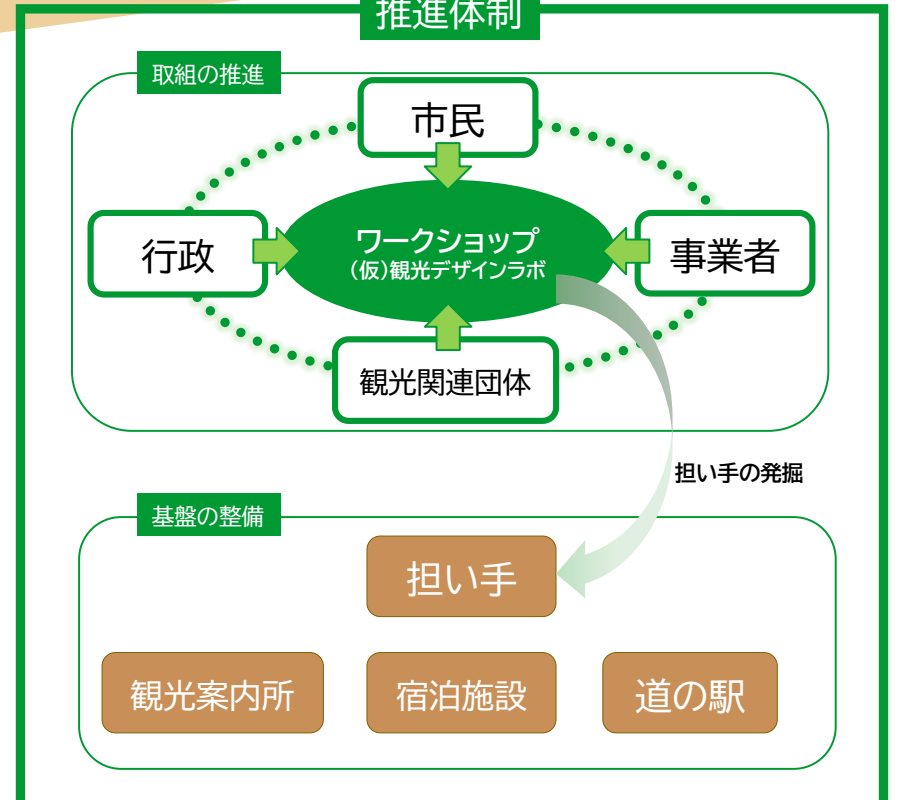
テーマ	施策の方向性
1 アウトドアツーリズム	① 発信力強化の促進・新たな付加価値の創出
	② 市内事業者との連携強化と魅力発信
2 山岳ツーリズム	① ダイヤモンドトレールのPR強化・他地域との差別化
	② 日本遺産との連携・アプリ活用の促進
3 サイクルツーリズム	① サイクル資源を活用した認知度向上
	② 飲食店等との連携強化による消費拡大

テーマ	施策の方向性
1 日本遺産ツーリズム <small>地域型 (中世に出逢えるまち)</small>	① 日本遺産を活用した歴史・文化資源の発信
	② 個々の観光資源の磨き上げと利便性向上
2 伝統文化ツーリズム <small>シリアル型 (女人高野、葛城修験)</small>	① 高野山のゲートウェイとしての情報発信
	② 高野山のゲートウェイとしての認知度向上
3 産業ツーリズム	① 伝統行事の発信強化
	② 伝統行事の理解の促進と人材支援

テーマ	施策の方向性
1 インバウンドツーリズム	① 情報発信の強化
	② タビマエ・タビナカでのSNS発信の促進
2 サステナブルツーリズム	① オーバーツーリズム抑制に向けた情報発信
	② オーバーツーリズム抑制に向けた改善策

3 観戦型スポーツツーリズム (女子サッカー)	① SNSを活用した女子サッカーチームの認知度向上
	② 面的・恒常的な賑わいづくり

推進体制



本市観光がめざす姿

計画の目標	基準年度	令和17年度
観光・宿泊施設の利用者数	1,183,926名 (令和6年度)	1,468,068名
観光客(日帰り)の消費額	10,620円 (令和6年度)	13,275円
まちが観光で盛り上がっている市民の実感(5点満点)	2.4点 (令和7年度)	3.2点
まちに愛着と誇りを感じる市民の実感(5点満点)	3.7点 (令和7年度)	4.1点